



特集記事①

新春特別対談

小松 範行 社長 × 小松 茂 顧問

特集記事②

栄グループの抱負を一文字で!

今年の漢字2016

栄グループの最新情報をお届け

GROUP TODAY

新しい仲間を紹介します

New Face

今号のPICK UP

劇的ビフォーアフター 忠岡営業所 お陰様で十八年 申処 銀扇

トレーラーに密着取材! 大釜哲の熱血レポートVol.3 運送編

運送編



大釜哲の vol.3 熱血レポート!

3回目の熱血レポートは、栄運輸工業株式会社の根幹事業運送業務に密着!
栄運輸工業枚方支店運輸課は、主にコマツ製品(重機)を全国各地へ輸送・納品する業務を担っている。
今回はパワーショベルやブルドーザーといった普通のトラックでは運べない代物を、どのようにして運ぶのかをレポートした!

密着開始!
午前3時30分、業務開始! AM3:30

まだ夜が明ける気配も無い真っ暗なコマツ大阪工場内、栄運輸工業枚方支店前でドライバーの小松さんの業務に同行。小松さんは明るい人柄のドライバーさんだ。今回の業務は、低床トレーラーに積み込まれたパワーショベル「PC200i」を神戸の港まで輸送する。このトレーラーの台車はパワーショベルの車幅より大きい2,990mm! 乗用車の普通免許しか持っていない筆者には、ドライバーがこのトレーラーをどのように操るのか想像もできない。出発前、事務所でもアルコールチェックと点呼を取り、今回の輸送をサポートする「誘導車」のドライバーのお二人と打ち合わせ。車両の日常点検、積荷が適正な方法で固定されているかの確認を行い準備は万全!



アルコールチェック



出発前の積荷確認

午前4時、コマツ大阪工場を出発! AM4:00

初めて乗るトレーラーは、助手席までの高さが自分の身長ほどもあり乗り込むだけでも一苦労。だが、乗ってみると見晴らしが良く、車内も広々としていて、思いのほか快適だ。運転する小松さんは真剣そのもの。迅速かつ高い安全運転技術が求められるのだから当然かもしれない。出発して間もなく住宅街を通過した。その時筆者には全くわからなかったが、小松さん曰く「ここは道幅が狭くてトレーラー同士のすれ違いができない」とのこと。ほどなくして道幅が広がったところで、同じ栄運輸工業のトレーラーがすれ違った。なんと! 走行時間をずらしていたのだ! 見事な連携である。車幅が大きいトレーラーでの通行は、隣車線の走行車に細心の注意を払い、交差点進入時は巻き込みが無いよう、後続の誘導車と無線で連絡を取り合いながら行われる。4.7mの高架下を通過する際、積荷の高さ約4mと若干余裕があるとはいえ、運転席の後ろから外を見ると、当たってしまうのではないかとと思うほどギリギリだった。

ドライバーの小松さんをはじめ、取材にご協力いただいた皆さん、ありがとうございました!!

午前6時、神戸港に到着! AM6:00

まだ夜も明けきらない早朝、小松さんは到着するや否や積荷を降ろす作業に入った。なんと、小松さん自身がパワーショベルに乗り込み運転して降ろすというのだ。誘導車のお二人と連携を取りながら、慎重に降ろしていくのだが、お客さまの商品ゆえ傷を付けることは絶対にあってはならない。この作業も相当なプレッシャーだと思われるが、きっちりと荷卸しを完了させた。最後に港の係員に荷受け作業をもらい、受付も完了。午前7時に港を出発し、帰路に着く。誘導車も付かず、通勤などで車両通行量が増えるため、運転は往路よりも注意して運転しなければならない。



港での荷受けの様子

密着終了!
午前9時、栄運輸工業枚方支店に帰還! AM9:00

今回痛感したのは、トレーラーの運転は大変な業務だということ。小松さんに「何故トレーラーのドライバーになったのか」と質問すると、笑顔で「カッコいいから」と答えてくれた。実にシンプルな理由だが、運転に対する気遣いや業務に打ち込む姿を見ると嘘偽りのない本心だと思う。栄運輸工業の本業である運送業は、経済活動の物流を担う業態だ。モノが移動しなければ売買が成り立たないし、製造ができない。モノの移動は価値の移動だとも言えるだろう。栄運輸工業はドライバーが日々努力を積み重ね、高品質な物流サービスを提供しているのだと実感したと同時に、それが栄グループ全従業員の将来に向かっての使命であると思う。



今回同業させていたいたトレーラー

「うろこも～しよん」
タイトルロゴの作者を紹介します!



ありがとうございます!!

栄運輸工業株式会社 忠岡営業所
安栗 久和さんのお子さま

(左) さくらさん 10歳
(中央) 健太郎くん 11歳
(右) 虎太郎くん 7歳



健太郎くんが書いてくれました!

編集後記

編集長の黒木です。今回の小松範行社長と小松茂顧問の対談、いかがでしたか? 私も同席しましたが、とても感慨深い貴重なお話を伺え、これからの励みになりました。ありがとうございました! 次回も企画盛りだくさんでお届けしますので楽しみに!

【タイトルロゴ募集・ご意見ください】

表紙のタイトルロゴや「うろこも～しよん」に関するご意見を募集しております。下記受付までお寄せください。
担当: 黒木 r-kuroki@sakae-uk.co.jp

栄グループ社内報「うろこも～しよん」は
栄グループホームページからもご覧いただけます。
<http://sakae-group.jp/>

未来を見据えた 新しい挑戦が始まる

小松茂

小松チューブエンジニアリング株式会社
顧問

小松範行

栄運輸工業株式会社
代表取締役社長



1967年に入社して50年、抜群の行動力と柔軟な発想で栄グループの礎を築き上げた小松茂顧問。2015年をもって栄グループを勇退されるにあたり小松範行社長との対談が実現。創成期から黎明期のエピソードを交えながら後進へ寄せる熱い想いを語ってもらった。



社長 はつらつと働かれている若き茂顧問の姿が頭に浮かびます。尼崎営業所では20年間過ごされ、いろいろあったかと思えます。いま改めてピンチといえる出来事などはありましたか。

顧問 そう聞かれて思い浮かぶのは、取引先の吸収合併による尼崎工場の商権消滅ですね。これまで栄運輸工業が持っていた商権は尼崎工場のもので、吸収合併した先の加古川製鉄所の商権は持っていませんでした。移転したからといって、商権もそのまま継続するわけではなかったのです。

このままでは根幹の運送業ができなくなる…まさに死活問題でした。『いよいよ栄運輸工業も終わりか』。そんな声も聞きました。

『何とかウチに運送をやらせてください』とお願ひしても、『もうすでに新しい業者が決まっています、すんなり引いてください。それが常道です』とピシヤリと断られました。

それでもなんとか事業を継続してもらおうと、あれこれ尽力し、必死で担当者を説得しました。そうしたら担当者がこう言ったんです。

『では、(すでに決定している)業者と競争をしてもらえますか?』と。

栄運輸工業の方が優れているという結果を出せるなら取引を考える。そう言われましてね。

そこからはとにかく採用してもらおうとがんばりました。あの手の手を使って、上申書を何度出したもダメで…。それは苦労しましたよ。

最終的には取引先が作業しやすいよう何十種類もある銑鉄の種類ごとにきっちりと分けて納入するなど、他社では絶対できない細やかな配慮をよりいっそう徹底しました。

同じことを新参の業者ができるか?否、きつとできないでしょう。

その施策が功を奏し採用してもらえたんです。

社長 そのままで追い込まれた局面を何とか乗り越えられたのですから、その努力たるや並大抵のことではなかったでしょう。そしてその後、1985年に枚方工場へ異動されるわけですね。

栄運輸工業にプロパーで入社。 栄グループと共に歩まれた50年

範行社長(以下社長) 本日はお忙しい中ありがとうございます。早速ですが、茂顧問が栄運輸工業に入社されたのが1967年4月ということなので、私が生まれたのとほぼ同じですね。

茂顧問(以下顧問) そういうことになりましたね。栄運輸工業にプロパーで入社した社員としては、私が一番早かったと思います。

当時、関連会社だった太陽製鋼倒産のショックが尾を引いており、経営が非常に苦しかった時代です。

社長 初代社長正義の盟友・北畑芳蔵さんが会社の再建を託され、辣腕をふるっておられた時代の終盤ですね。

茂顧問は入社されてまずはどんな仕事に就かれたのですか。

顧問 尼崎営業所に配属され、尼鉄(尼崎製鉄)関連の運送業務や工場内の作業関係を担当していました。

高炉に使う耐火レンガの配送などは、築炉業者からいつ連絡が来てもいいよう24時間対応できる体制を敷いていましたね。

朝早くから夜まで働き、入社後しばらくは奈良から通っていたので通勤時間も往復4時間!家に帰ったらまさにバタンキュー状態ですね(笑)。

会社の再建に少しでも役に立ちたいと、とにかく日々一生懸命でした。



顧問 そうですね。正式には枚方支店・枚方家具団地工場と呼んでいました。

ご存知の通り、この工場が後に小松チューブエンジニアリングとなるのですが、私が入った当時はブルドーザーの足回り部品製造など、まだ鋳物関係の仕事がメインでした。

社長 小松チューブエンジニアリングが、油圧パイプなどの配管製造専門の工場となった経緯を教えてくださいたいのですが。

顧問 取引していたある会社が、油圧パイプの製造から手を引くという話を耳にしましてね。

先代の弘人社長は当時、『何か技術を培える事業に参画したい』と常日頃から口にしていました。



そんな背景もあり、一念発起して我が社で製造業務を引き継ぐこと。

社長 勇気ある決断ですが、機械もノウハウもままならない、まさにゼロからのスタートということに相当苦労されたのではないのでしょうか。

顧問 おっしゃる通り、ずいぶん失敗しました。最初は歩留まりの悪さが響いて赤字が続きました。これは何とかせねばと思案し、まずは作業員の管理体制をしっかりと整えました。

なにせ、始業時間に仕事が始まらず、工場内のあちこちにタバコの吸い殻が落ちていたような、ひどいありさまでした。「8時には作業に取りかかれるよう準備を怠らない」「休憩時間はきっちり守る」。

これら基本的な規則を遵守する環境に改善することで、作業員の技術力は向上し、それに伴って業績も徐々に上がっていきました。

社長 労務管理が収益に直結する事例の典型といえますね。

その4年後の1989年、小松チューブエンジニアリングとして独立した経緯について聞かせてください。

顧問 それはもう、先代社長のこの一言が大きかったですね。「ちょっと良くなったけど、その後の進歩がない。いっそのこと独立してもうたら甘えもなくなるんと違うか!」と。

社長 なるほど。輸送事業が根幹となっている栄グループの中で、小松チューブエンジニアリングは、現時点でゼロベースからのモノづくりを手がける唯一の会社です。

会社というものは 変化を恐れた時点で 成長がストップしてしまう

社長 茂顧問は入社以来、これまで約50年にわたり栄グループの発展に尽力してくださいました。

ひとつの会社で半世紀勤めあげる。口で言うのは簡単ですが、やはり確固たる信念と覚悟がなければできないことだと私は思います。

顧問 それにはふたつの大きな要因があると自分では思っています。

まずひとつは、創業者である父親がつくった会社を兄と一緒に守り、大きくしたいという使命感のようなものです。

社長 茂顧問と弘人社長は、私から見てもまさにベストコンビでした。口にはせずつともお互いの役割分担をしっかりと把握し、それぞれの領域に踏み込

むつもりです。

顧問 私は2015年をもって一線は退きますが、何かお役に立てることがあればいつでも呼んでください。

社長 ありがとうございます。栄グループのこれからにつながる勉強材料をいただけました。

最後になりますが、茂顧問、長いあいだ本当におつかれさまでした。

顧問 こちらこそ、このような場を設けていただき光栄です。ありがとうございます。

栄グループの今後ますますの発展を、一人のOBとして心から願っています。

みすぎないよう線引きしておられた。

理論派でありながら、こころという時にはガンガン攻める。あれこれ手を広げるのではなく、ご自身の仕事に集中された。

そんな茂顧問の存在は、弘人社長にとっては言葉にできないほど大きく、頼もしかったことでしょう。

顧問 そうかも知れませんが、嫌われるのを覚悟の上で、弘人社長の代わりに憎まれ役に徹しました。でもそれでいい。組織には必要な役割でしたから。あともうひとつは「心の持ちよう」です。

人生の半分を費やす仕事。それを楽しいほど、不幸なことではないと思います。

どんな仕事であれ、楽しむことで面白い発想も湧くでしょうし、私はこれまでどんな窮地に立たされても、仕事を楽しむ姿勢だけは忘れませんでした。

社長 私が強く印象に残っているのは、自分から積極的に従業員に話しかける茂顧問の姿です。「調子はどうやっ?」といった簡単な言葉でも、気にかけてもらえることで、従業員のモチベーションは上がるもの。

栄グループに茂顧問の潜在的ファンが多いのは、厳しい中にも優しさを感じさせるそのお人柄があったからこそでしょう。

私自身、経営者の重要な役割は「従業員が楽しんで仕事に取り組める環境を、いかにつくってあげられるか」だと思います。

社長 おっしゃる通りだと思います。私の中では、小松家と栄グループを完全に分離して次の方向性を探る、という考えに入ってきています。

これまで小松家の人間が任されていた役割やポジションも、グループ内全体へ視野を広げ、適任者に託したい。

そこから生じる全ての変化をプラスにできるかどうかは、社長である私にかかっています。

茂顧問をはじめ、諸先輩方が培ってこられた「イズム」はしっかりと継承し、強い覚悟と柔軟性を



小松 茂 (こまつ しげる)

1967年の入社以来、栄グループ一筋50年。抜群の行動力と柔軟な発想で、栄グループの礎を築き上げる。

【経歴】 1942年6月8日生まれ。1967年4月、栄運輸工業株式会社に初のプロパーとして入社、尼崎営業所に勤務。1982年取締役就任。1989年小松チューブエンジニアリング株式会社設立に従事。1999年小松チューブエンジニアリング株式会社社長に就任。2012年3月 小松チューブエンジニアリング株式会社社長を退任、顧問に就任。2015年9月 退任。

今年の漢字

栄グループ

二〇一六年を
どのような年にしていきたいか、
漢字一字で各事業所に
決意表明をしてもらいました。

2016

成

栄 運輸工業
株式会社
本社管理部

目標を成し遂げ、
成功させる
1年にします!

活

栄 運輸工業
株式会社
枚方支店

今年は「活性化し
活力と活気」で
明るい職場をめざし
活動していきます!

新

栄 運輸工業
株式会社
阪神支店

心機一転、
新しいことに
チャレンジし
邁進していく1年に!

慮

栄 運輸工業
株式会社
阪神支店
加古川営業所

仕事に対して
考慮・熟考し
人に対して
配慮していく年に!

成

栄 運輸工業
株式会社
泉北支店
泉北営業所

2016年は丙申の年。
実が固まっていく・
成長段階という意味
の丙申。全職員が
成長し、支店目標を
達成します!

無

栄 運輸工業
株式会社
泉北支店
堺営業所

無事故・無災害を
達成できるよう
仕事に
取り組みます!

守

栄 運輸工業
株式会社
泉北支店
姫路営業所

事業所を守るため、
増収増益
無事故無災害
を目標に所員一同
励んでいきます!

続

栄 運輸工業
株式会社
堺臨海営業所

2016年も
売上持続・
やる気継続で
邁進します!

笑

栄 運輸工業
株式会社
忠岡営業所

笑う門には福来る。
今年には笑顔の
絶えない年に!

会

小松商事
株式会社
飲食事業部

一期一会を
大切にします!

昇

小松チューブ
エンジニアリング
株式会社

組織改革で
上昇志向の
プロ集団となり、
収益改善で昇竜の如く
業績を上昇させます。

挑

枚方梱包
株式会社

「殻を打ち破り」、
「挑戦する」。
現状からの
脱却をめざします!

力

協栄
株式会社

各個人の小さな力を
集結し、全員で
大きな力となって
前進します!

結

栄 エンジニアリング
株式会社

従業員が一致団結し、
人とのつながりを
大切にする1年に!

幸

栄 トランスポート
株式会社

今年は公私ともに
「幸」をめざして
自分の幸・社員の幸
を求めています!

凜

ランドヘルパー
株式会社

態度・容姿・心を
厳しくしめて
仕事へ向き合う
年にします!

仁

極東油業
株式会社

仁により義は形成される。
義は内面の規律、
仁は一切を包容する心。
仁と義を一層育み
事業発展に挑みます。

躍

有限会社
栄 モーターサービス

社員一人ひとりが
活躍を意識して
躍進する年に
していきます!

GROUP TODAY

新しい仲間を
紹介します！

New Face

新しく栄グループに
入社した皆さんをご紹介します！

 2015年7月入社 栄運輸工業株式会社 泉北支店堺営業所 松若 翔大さん	 2015年7月入社 栄運輸工業株式会社 泉北支店堺営業所 山根 岳志さん	
 2015年6月入社 栄運輸工業株式会社 枚方支店 田岡 元成さん	 2015年6月入社 栄運輸工業株式会社 枚方支店 小松 鷹さん	 2015年10月入社 栄運輸工業株式会社 枚方支店 茂木 智也さん
 2015年11月入社 栄運輸工業株式会社 枚方支店 江口 龍雄さん	 2015年7月入社 栄運輸工業株式会社 阪神支店 山口 由利さん	 2015年7月入社 栄運輸工業株式会社 堺臨海営業所 中辻 阿澄さん
 2015年5月入社 枚方梱包株式会社 粟津工場 伊藤 晃さん	 2015年8月入社 枚方梱包株式会社 粟津工場 園部 勇太さん	 2015年9月入社 枚方梱包株式会社 粟津工場 山口 貴央さん
 2015年10月入社 枚方梱包株式会社 粟津工場 田中 誠さん	 2015年11月入社 枚方梱包株式会社 粟津工場 齋藤 杏子さん	 2015年6月入社 枚方梱包株式会社 海外梱包部 吉原 美穂さん
 2015年6月入社 小松チューブ エンジニアリング 株式会社 西村 飛呂志さん	 2015年8月入社 小松チューブ エンジニアリング 株式会社 高山 世嗣さん	 2015年9月入社 小松チューブ エンジニアリング 株式会社 山口 拓馬さん
 2015年11月入社 小松チューブ エンジニアリング 株式会社 今堀 彩子さん	 2015年4月入社 有限会社 栄モーターサービス 上津 圭一郎さん	 2015年11月入社 栄エンジニアリング 有限会社 篠原 藍さん

栄グループ 親睦旅行へ 行きました



11月14日・15日熱海、東京に栄グループ親睦旅行へ行きました。参加者総勢76名。この旅行の目的はグループ内の親睦を深めることですが、今回は戦後70年の節目ということで、「戦後70年の記憶をたどる」をテーマに掲げ、靖國神社を参拝しました。

靖國神社は、日本を守るため尊い命を捧げた約246万人の神霊が祀られています。また、併設されている遊就館は、靖國神社に鎮まる英霊の遺書や遺品をはじめ、貴重な史・資料が数多く展示されています。

これらを見学し、改めて戦争によって失われた尊い命の犠牲のついでに現在の平和が成り立っているのだと実感することができました。(久田里)

栄運輸工業 堺臨海営業所 新車重機(WA470-7)を購入しました

この度、堺臨海営業所では新車重機「コマツ製ホイールローダ WA470-7」を購入しました。旧重機(WA500-5)が15年間の稼働により、老朽化が激しくなったため、新車を購入する運びとなりました。

堺臨海営業所では、がれき類を扱った産業廃棄物リサイクル業を行っているため、産業廃棄物を運搬するためのホイールローダはかかせません！さすが新車、以前の重機より稼働がとてスムーズで騒音が格段に静かです。

このWA470-7を長く使用できるように、メンテナンスも管理もしっかり行っています。

また、新車重機を購入するにあたり、関係各所の方々にはご尽力賜り、感謝申し上げます。

WA470-7は今日も元気良く稼働しています！(辻本)



コマツ製ホイールローダ WA470-7

極東油業 セールストークコンテスト 大阪・兵庫大会 3位入賞

セールストークコンテストとは、EMGマーケティングが年に1度開催する大会で、Sで販売する商品の販売トークが、いかにわかりやすく明確に行われ、買手気になされるかを一般消費者を審査員に迎えます。

9月17日、極東油業(株)から参加した木寺良平さんは日頃鍛え上げた洗車のセールストークで参戦。難関の大阪・兵庫予選大会を見事に勝ち抜き、決勝大会に挑み大阪・兵庫大会の3位入賞を飾りました。

来年こそは1位をめざして、日々精進していきます！(飯田)



(写真中央) 木寺 良平さん

栄運輸工業 泉北支店泉北営業所 連続無災害記録 2000日達成

平成22年5月14日、はい付け作業中に製品が転倒し、作業者が足を骨折する災害が発生しました。

その後、安全への取り組みとして製品置場のスタンションを増設し、高さ制限を遵守しました。そして、仮想災害・安全懇談会「JK(自主活動)などを毎月実施し、作業者による自主的な安全活動の機会を増やしました。更にYK1や玉掛け時に可能な限り手鉤を使用し、製品に直接触れない取り組みをしています。

今後も、「安全は全てにおいて優先される」をスローガンに連続無災害を続けていきます。(河合)



栄運輸工業 忠岡営業所 優良運転者表彰

平成27年6月12日、第38回東燃ゼネラル和歌山陸上輸送安全協力会定時総会において、乗務員の西原義高さんが、「優良運転者表彰」を受けました。

この「優良運転者表彰」は、過去5年間無事故・無違反で業務に精励および、荷役作業において安全作業の基本を守り、他の模範となることが表彰の対象となります。



西原 義高さん

栄グループ うるこ会ゴルフ コンペ結果ご報告

11月22日に行われたうるこ会の結果をご報告します。入賞された皆さん、おめでとうございませう。(久田里)

個人戦	優勝 木下 淳	栄運輸工業株式会社 本社	NET70
	2位 金村 裕司	栄運輸工業株式会社 泉北支店堺営業所	NET70
	3位 福岡 泰紀	栄運輸工業株式会社 枚方支店	NET70
	*ネットが同じ場合はハンデキャップが少ない人が上位となります		
団体戦	優勝 栄運輸工業株式会社 泉北支店チーム		
	西原 義高さん 支店長、西出 裕一さん 所長、金村 裕司さん 所長、水野 一さん 主任		



小松 龍行 社長(右)と 団体戦優勝チーム(左から)水野 一さん、西出 裕一さん、金村 裕司さん、西原 利寿さん

申処 銀扇

お陰様で十八年

小松商事株式会社 飲食事業部

「申処 銀扇」は、平成10年3月に大阪ミナミ・道頓堀のグリコの向かいにオープン、今年で18年目を迎えました。今回は、料理長として腕を振るう和田厚則さんに、この18年を振り返ってお話を伺いました！



「黙ってうまいもんを出しておけばいい」
そんな考えが、お客さまとの会話で変わりました

■ オープンから現在まで、もっとも苦労したことを教えてください。
和田：立ち上げ当初はお客さまが少なく、メニューや価格の見直しやお店の雰囲気づくりといった試行錯誤の連続でずいぶん苦労しました。この頃は辛かったですね。

■ 反対に一番嬉しかったことはなんですか？
和田：もともと人と話すことが苦手で「料理人は黙ってうまいもんを出す」というスタンスでしたが、さすがに7、8年もするとカウンターのお客さまと話が弾むように。そのお客さまが、帰りに「また話しに来るね」と言ってくれたいま



■ 揚げ物をおいしく揚げる秘訣を教えてください。
和田：おいしくなれ、「好きな人に食べさせたい」と思いながら揚げること…要は愛情ですね。

■ 今だから言える「こんな失敗」を教えてください。
和田：お客さまから「皆猫舌なのでゆっくり出してください」と2度も要望があったにも関わらず、普段より早く出してしまい、ひどく怒らせてしまいました。満席で行列ができるほど忙しく、店員同士の連携がうまくいかなかったのが原因です。どんなに忙しくても、お客さまへの配慮を忘れてはいけないと痛感しました。

■ 一本一本、愛情を込めておいしい串カツを揚げるって
揚げ物をおいしく揚げる秘訣を教えてください。



これからも愛される串カツ屋さんをめざして頑張りますので応援してください！

「申処 銀扇」
和田 厚則 料理長



キッチン担当の越後谷さん(左)と和田料理長(右)

■ 最後に和田料理長の今年の抱負と、栄グループの皆さまに向けてひと言をお願いします。
和田：熟練の味をお楽しみいただけるよう、これからも精進いたします。栄グループの皆さん、愛情たっぷりの美味しい串カツを是非食べに来てください。スタッフ一同お待ちしております。

■ ありがとうございます。



(左から)ホールスタッフの高橋さん、中尾さん、久保田さん(高橋さん、中尾さんはランチ担当)



(左から)ホールスタッフの中本さん、福田さん、竹野さん、岸さん(中本さん、福田さん、岸さんはディナー担当)



キッチンスタッフの岡本さん(左)、戸田さん(右)



キッチンスタッフの小島さん(左)、原田さん(右)

DATA

■ 住 所：大阪府大阪市中央区心斎橋筋2-4-2 グルカスシティビル2F
■ 電話番号：06-6213-2898
■ 座 席 数：78席(禁煙席あり)カウンター席/26席テーブル席/52席
■ 営業時間：ランチ / 12:00~15:30 (L.O 15:00)
 ディナー / 17:30~23:00 (L.O 22:30)
■ 定 休 日：不定休

当店オススメの15本を味わえるコース「銀コース」1名様分プレゼント！
ページ左下の引換券をお持ちください。有効期限：2016年3月末まで

お得情報をGET!

銀扇Facebook
右のQRコードを読み込んでください。

銀扇LINE@ID
ginsen123

忠岡営業所

劇的 なんとということでしょう!!

3years

ビフォーアフター

That's a DRAMATIC CHANGE!



会議室兼乗務員詰所

忠岡営業所が輸送しているケミカル製品は、自動車部品・建築塗料関係・医薬品、スマートフォンの一部など、多くの中小企業で幅広い分野の物に加工されており、人々が生活していく上で、なくてはならないものです。人の暮らしを私たちが支えている。そして、私たちがこれまで安全・安定輸送に従事できたのは、栄グループの皆さまと、お客さま、同業社といった大勢の心強いパートナーに支えられたおかげです。

この感謝の気持ちを忘れずに「優しさ」と思いやり、そして、厳しさをモットーに従業員の団結力を結集して新たな一歩を踏み出していきたいと思えます。



今まで以上に無事故・無災害をめざし、信頼を勝ち得ていく

栄運輸工業株式会社 忠岡営業所

支店の事業部からわずか2年弱というスピードで営業所へ昇格！そこには並々ならぬ努力があったからこそ、実現できたといえるでしょう。大躍進を遂げた原動力とは？ 阪井所長にケミカル輸送事業の3年半を振り返ってもらいました！

マイナスからのスタート。
地道な営業活動と事業の見直しで利益率UP

平成24年7月、M&A実施によってケミカル輸送事業部が始まりました。立ち上げ当初は慣れない業務や初めて聞く専門用語に四苦八苦、毎日が試行錯誤の連続でした。M&Aの影響から一部顧客離れが起きて受注が減り、トラックが走らないため売り上げが低迷し、厳しい状況に置かれたこともありました。

この危機的状況からの脱却をはかりたい、そのためにはどうすればよいか…。とにかく、まずはケミカル事業部の存在を知ってもらわなければならぬ。そう思った考えから内外にケミカル輸送事業部をアピールし続けました。新規顧客開拓のための地道な営業活動に加え、既存荷主へ受注増のお願いに奔走したことも少なくはありません。

余分に保有していたタンクローリー車も、需要に応じた適正台数とし、コスト削減をはかりました。このように常に事業の見直しをはかり、改善を続けてきたからこそ、今があると自負しています。

優しさと思いやり、そして、厳しさ。従業員が団結力を集約して新たな一歩

この業界ではまだまだ新参者、1日も早く競合他社に肩を並べ、ゆくゆくは業界のトップに立てるよう努力していきます。(黒木)



これからも忠岡営業所はどんどん前へ進んでいきます！

栄運輸工業株式会社
忠岡営業所
阪井 充 所長

ビフォーアフター 3年での劇的変化!!

That's a DRAMATIC CHANGE!

名称	乗務員数	優良運転者表彰受賞者
泉北支店 堺営業所 ケミカル輸送事業部 → 忠岡営業所 ケミカル輸送事業部で1年9ヶ月、忠岡営業所となって独立して1年9ヶ月。 トータルで3年6ヶ月!! (12月現在)	8名 → 10名 1人1台、自分専用のトラックを所持。丁寧なメンテナンスに洗車を欠かさないからいつもピカピカ!! 何よりお客さまの信用は絶大!	1名 → 3名 某所陸上安全協会会員122社、相当者数の中で表彰されるのは年間10名にも満たないのに、毎年表彰者を輩出するのはまさに快挙!!
事務所移転	利益率	
事業当初はマンションの一室で営業していましたが、駐車場にある旧乗務員詰所および、物品倉庫の改装工事を行い、平成27年7月より新事務所での業務を再開しました。	マイナスから脱却!! 営業活動に加え、必要最小限のトラック台数で月間稼働率を上げるなど、あらゆる面でコストの見直しをはかる努力を重ねて利益率を大幅アップ!!	

うさぎも〜しんVol.13読者限定
銀コース1名様分プレゼント
2016年3月末まで有効期限